mark Levinson®

**REFERENCE MONAURAL**
**POWER AMPLIFIER**

# No.53

# 取扱説明書

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

## １.はじめに

このたびは、マークレビンソン No.53 パワーアンプをお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み頂き、正しい操作で、末永くご愛用下さい。

## ２．開梱にあたって

No.53 の梱包重量は約 75kg です。開梱は必ず二名以上で行ってください。開梱、設置を容易にするため、ノンスリップ加工された手袋が付属しています。設置、移動の際はスピーカーターミナルなどの突起部を持たず、本体前後のパネル上部をしっかりと持ち、水平に運んでください。外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。もし、万一損傷や故障が認められた場合は、直ちにご購入店にご連絡下さい。
オリジナルの梱包材は、緩衝材等を含め、開梱後もお手元に保存下さるようにお薦めします。修理等のために製品を輸送されるような場合、オリジナル梱包以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意下さい。

## ３．付属品

本体の他に、下記の付属品が納められていますので、お確かめ下さい。

- ●ＡＣ電源ケーブル×１本
- ●３Ｐ－２Ｐ変換ＡＣプラグ×１個
- ●3.5㎜ ミニプラグ付ケーブル(トリガーコントロール用)×１本
- ●手袋(開梱/設置/移動用軍手)×２組

## ４．保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。
仕様変更、バージョンアップなどに伴うアフターサービスは、保障期間の有無にかかわらず有償となります。また、その際の送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

## ５．設置

ヒートシンク(放熱板)は大量の熱を放出するため、周囲には十分な空間を設け、熱の対流を妨げないように設置場所を決めて下さい。
本機は非常に大きな電流容量の電源を持っていますので、アナログ・プレーヤー、ヘッドアンプ、プリアンプ等の微弱レベルを増幅する他の機器の近くに設置すると、誘導ハムを引き起こすことがありますのでご注意下さい。スペース効率を高め、出力特性を十分に発揮させるために、本機をスピーカーの近くに設置することをお薦めいたします。

## ６．電源

本機の電源は、一般家庭でのご使用に合わせて 100V にセットされています。また、本機は大量の電流を必要とします。電源は他の機器との共用を避け、独立したコンセントを使用して下さい。テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

## ７．フロントパネル各部の名称と働き

**①イルミネーションランプ**

本機の動作状態をロゴの点灯により表示します。本機の電源がオンになり動作中はロゴが赤く点灯します。本機がオフまたはスタンバイ状態の時、ロゴは白いレタリングのみとなります。

**②スタンバイ・ボタン**

本機がスタンバイまたはスリープ状態の時、このボタンを押すことによりインジケーターが明るく点灯し、本機は動作状態になります。

通常、本機を使用しない時はスタンバイの状態にしておくとことで、主要回路が常に通電されているため、動作状態にした際にすぐに本来の性能を発揮させることができます。

動作中にボタンをもう一度押すとスタンバイ/スリープ状態になり、インジケーターが点滅または暗い点灯となり、音が出なくなります。

**《注意》**

本機がスタンバイ状態の時、本体上部から熱を発生しますが、これは主要回路が通電されているためで異常ではありません。また、本機はスタンバイ状態で約 172W の電力を消費します。外出の際は必ずメイン電源スイッチにて電源をオフの状態にしてください。また、長期に渡り外出される際には、フロントパネルのメインスイッチをオフの状態にし、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き取っておいてください。

本機は次のような異常を感知すると内部の保護回路が働き、自動的に電源をオフの状態にします。この場合、異常が改善されるまで電源は入りません。

- 出力への直流漏れ
- ＡＣ電源の過大電圧もしくは電圧降下
- 異常温度上昇

スタンバイ・ボタンを押しても電源がスタンバイからオンの状態にならない場合は、メイン電源を切ってから電源や入出力ケーブルの接続を確認して下さい。接続に誤りがなく、または誤

りを訂正しても電源が入らない場合には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでご相談下さい。

**③インジケーターランプ**

本機の動作状態を LED ランプの点灯/点滅により表示します。本機の電源がオンになり動作中は、ランプが明るく点灯します。本機がスタンバイ状態の時、ランプは点滅状態になります。また、スリープ状態では暗く点灯し、メイン電源が通電されていることを示します。

## ８．リアパネル各部の名称と働き

リアパネルの各部の接続は、接続するすべての機器の電源を切ってから行ってください。

**入出力端子/スイッチ：**

**①ＡＣ電源ソケット**

他のすべての接続が終わったことを確認した上で、ＡＣ電源ケーブルをコンセントに接続します。本機には、３極ＩＥＣソケット付きＡＣケーブルが付属していますので、このソケットを本機のＡＣ電源入力端子に接続した上で壁のコンセントに接続してください。本機は大量の電力を必要とするため、電源ケーブルは必ず壁のコンセントに直接接続し、テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

**②メイン電源スイッチ**

ボタンを“I”側に押し込むことで本機フロントパネルの赤いインジケーターが暗く点灯し、約 10 秒後にメイン電源が入ります。このスイッチはパワーアンプを制御するオペレーション回路と保護回路を働かせるための電源スイッチで、このスイッチの操作だけではアンプのオーディオ回路を働かせることはできません。電源のオン/スタンバイ(またはスリープ※)の操作はスタンバイ・ボタンで行います。

※スタンバイとスリープの切り替えはリアパネルのパワーセーブ･モード･スイッチで行います。

**③スピーカー出力端子(outputs ＋ / －)**

スピーカーケーブルを用いてスピーカーシステムを接続します。＋(赤)/－(黒)を間違えないよ

うに注意して接続してください。端子中央の穴はバナナ端子に対応しています。
本機はバイワイヤリング接続に対応し、上下二組の端子を装備しています。一般的なシングルワイヤリングを行う際は、上下どちらの端子に接続しても音質、性能は同一です。

本機の出力特性を充分に発揮させるために、スピーカーケーブルはできるだけ短くなるように配線を工夫してください。このため、本機をスピーカーシステムの近くに設置することをお薦めします。

**《注意》**

スピーカーケーブルを接続する際は、出力端子をショートさせないよう十分にご注意下さい。
安全のため、スピーカーケーブル端末にはＹ型(またはＵ型)圧着端子を取り付けた上でご使用下さい。
トラブルを避けるため、本機の出力端子にシステム・セレクターなどの機器を接続しないでください。

**④アンバランス入力端子(inputs single ended)**

ＲＣＡタイプのアンバランス出力を持つ機器を接続します。アンバランス入力を使用する場合には、ＸＬＲバランス入力端子の３番ピンと１番ピンとの間に付属のショートピンを差し込んでおいてください。

**⑤バランス入力端子(inputs balanced)**

ＸＬＲコネクターによるバランス出力を持つプリアンプとの接続に使用します。バランス入力端子の３番ピンと１番ピンの間に差し込まれているショートピンをピンセットやラジオペンチなどで引き抜き、ＸＬＲメイルプラグを接続してください。抜き取ったショートピンは、本機でアンバランス接続を行う際に必要となりますので、大切に保管してください。

クォリティーを充分に引き出すため、プリアンプとの接続にはバランス入力の使用をお薦めします。

本機のＸＬＲコネクターは、以下のピン配列になっています。

ＸＬＲコネクターのピン配列

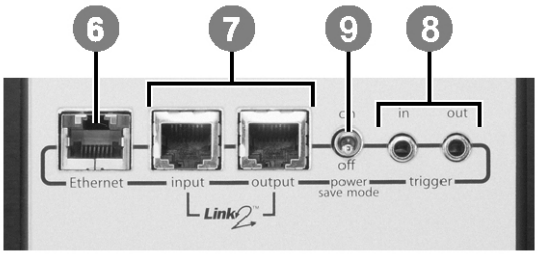
| | |
|---|---|
| １番ピン | シグナル・グラウンド(シールド) |
| ２番ピン | ホット(＋) |
| ３番ピン | コールド(－) |
| コネクターラグ | シャーシ・アース |

**コントロール端子/スイッチ：**

**⑥コンピューター・コントロール端子(Ethernet)**

パワーアンプのオペレーション・ソフトウェアのバージョンアップやコンピューターを用いて

のコントロールなどに使用するコンピューター接続ポートです。コンピューターとの接続には専用のアダプターとソフトウェアが必要ですので、むやみにこれらの機器と接続しないようお願いします。




**⑦マークレビンソン・コントロール端子(Link 2 input / output)**

マークレビンソンのＮｏ３２０シリーズのプリアンプと接続し、プリアンプのスタンバイボタンの操作により本機の電源をスタンバイから動作状態にすることができます。また、スタンバイ時の LED の点滅をプリアンプと同期させることが可能です。

コミュニケーション・ケーブルを用いてプリアンプのマスター（master）ポートとインプット(input)に接続します。No53 パワーアンプを複数使用する場合には、１台のアウトプット(output)ポートからもう１台のインプット(input)ポートへと順に接続してください。
コミュニケーション・ケーブルをご入用の際には、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談下さい。

**⑧トリガー コントロール端子(trigger in / out)**

他のＡＶ関連機器と組み合わせて使用する場合に、各機器のリモート・ターンオン・ジャックに３.５φミニプラグ付きケーブルで接続すると、接続した機器のスタンバイ・ボタンの操作により本機のオン/スタンバイをコントロールすることができます。ミニプラグ付きケーブルをトリガー入力（trigger in)に接続してください。
本機はＤＣ３Ｖ～１２Ｖのレベル出力(連続出力)を感知した時、動作状態となります。

複数のアンプを連動させる場合には、トリガーアウト端子(trigger out)から他のアンプのトリガー入力に接続してください。トリガーアウト端子には、トリガーインプット端子より入力された信号がそのまま出力されます。

**⑨パワーセーブ・モードスイッチ(power save mode on / off)**

本機のスタンバイボタンを操作した際、パワーセーブモード・スイッチがオフ(off)の場合は本機の電源はスタンバイ～オンの間で動作します。パワーセーブモード・スイッチがオン(on)の時、本機の電源はスリープ～オンの間で動作します。
本機はスタンバイ状態の時、主要オーディオ回路は常時通電されているため、電源オンにすることですぐに真価を発揮させることができますが、スタンバイ状態で常時約 172Wの電力を消費します。スリープ状態では、オペレーション回路を除くすべての回路がオフとなるため、待機時の消費電力を約 40W程度に抑えることができますが、電源をオンにした後本機の真価を発揮させるまでに若干のヒートアップが必要となります。

**《注意》**

パワーセーブモード・スイッチを切り替える際は、必ずメイン電源スイッチをオフにした上で操作を行ってください。

## ９．保守

お手入れの際には、柔らかい布を使用して乾拭きするようにしてください。汚れがひどい時には、薄い石鹸水に柔らかな布を浸し、硬く絞って汚れを拭きとった後、乾いた布で拭いてください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりすることは避けてください。
お手入れの際は、本機及び本機に接続されている機器の電源を切り、接続ケーブルを外しておいてください。

mark Levinson

## １０．規格

| モデル No. | No.53 |
|---|---|
| 定格出力(20Hz～20kHz, THD<0.1%) | 500W(@8Ω)/1,000W(@4Ω) |
| 周波数特性(±0.1dB) | 10Hz～20kHz |
| S/N 比(1W基準) | 85dB 以上 |
| 入力端子 | RCA(アンバランス)×1<br>XLR(バランス)×1 |
| 入力インピーダンス | 100kΩ(バランス)<br>50kΩ(アンバランス) |
| 電圧ゲイン | 26.8dB |
| 入力感度 | 1W(@8Ω)出力時：130mV<br>定格出力時：2.83Ｖ |
| 出力端子 | 大型ﾊﾞｲﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾎﾟｽﾄ×2 組 |
| 消費電力(±５%) | スリープモード時：41W<br>スタンバイ時：172W<br>無信号時：173W<br>定格出力時(@8Ω)：767W |
| 外形寸法(幅×高さ×奥行) | 214×530×518mm |
| 梱包重量 | 61.2kg |
| 本体重量 | 74.8kg |

※定格出力及び消費電力は、電源ケーブルを通じて充分な電力供給が得られた場合の数値です。


harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

ホームページ http://www.harman-japan.co.jp

製品に関するお問い合わせは、下記マーケティング部まで、
修理に関するお問い合わせは、東京サービスセンターまでご連絡ください。

| | | |
|---|---|---|
| 本社・営業部 | 〒110-0005 東京都台東区上野 5-7-7 公徳堂ビル 4F | Tel03-3836-5641(代) FAX03-3835-3084 |
| マーケティング部 | 〒110-0005 東京都台東区上野 5-7-7 公徳堂ビル 2F | Tel03-3836-5660(代) FAX03-5688-0024 |
| 東京サービスセンター | 〒135-0033 東京都江東区深川１－６－29 結城運輸倉庫㈱内 | Tel03-5639-3011(代) FAX03-5639-3044 |
| 大阪営業所 | 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-12-15 双葉ビル 602 号 | Tel06-6301-1396(代) FAX06-6307-2861 |
| 福岡営業所 | 〒816-0844 福岡県春日市上白水 418-4 | Tel092-573-2023(代) FAX092-583-6050 |


MKT.2008.10.15